

令和3年11月19日

石巻市議会議長 大森 秀一 殿

石巻市議会
無会派 大森 秀一

調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

記

- 1 調査者氏名 大森 秀一
- 2 調査期間 令和3年11月12日（金） 1日間
- 3 調査地 ①七窪蛇田線（建設部所管）、
②のぞみ野地区（グリーンスローモビリティ、復興政策部所管）、
③一般廃棄物最終処分場（生活環境部所管）、
④大須崎灯台線（雄勝総合支所所管）
- 4 目的 道路及び一般廃棄物最終処分場の整備状況を確認するもの。
また、運用を開始しているグリーンスローモビリティの活用状況等を視察するもの。

5 調査概要・所感・調査による石巻市への政策提言等

○ 調査概要

①七窪蛇田線道路新設

建設部都市計画課より工事の進捗状況等について説明を受け、その状況を視察。

②グリーンスローモビリティ（のぞみ野地区）

復興政策部ICT総合推進課から、概要や活用状況等について説明を受け、実際のカーンを視察。

③一般廃棄物最終処分場整備

生活環境部最終処分場建設推進室から整備の進捗状況等について説明を受け、発破による工事状況を視察。

④大須崎灯台線道路改良

雄勝総合支所地域振興課から、整備及び管理状況等について説明を受け、現地を視察。

○ 所感

①七窪蛇田線道路新設

昭和41年に都市計画決定され、平成26年度に着工し、令和5年度までの事業である。

進捗率として、令和3年3月末時点で39%である。

鉄道で南北に分断されていたが、中心市街地へのアクセス性の向上による、交通渋滞の緩和が図られる。また、災害時における避難道路や緊急輸送道路として、防災の役割もある重要な路線である。

②グリーンスローモビリティ（のぞみ野地区）

本市はSDGs未来都市に選定されており、支え合いで築き上げる持続可能な地域づくりを目指しており、SDGsの目標13の「気候変動に具体的な対策を」から、マイカーやガソリン車の利用を控えるため、令和3年3月から時速20km未満で走行する電動カーンの運行を無料で始めている。

電動カーンを地域の方々に使用することで、より環境だけではなく、よりよい地域づくりが期待できると思料する。

③一般廃棄物最終処分場整備

総事業費は、埋立地建設工事及び浸出水処理施設等建設工事合わせて、8,712,000,000円であり、令和2年11月から着工し、令和4年2月の完成を予定している。発破を繰り返し行っており、付近に住宅がないため、影響はないとのことであった。

④大須崎灯台線道路改良

大須漁港周辺の海難事故を防ぐ目的で昭和24年に初めて灯された灯台は、雄勝の人々の暮らしを見守ってきた。灯台周辺は、地域住民やボランティアがきれいに清掃し、四季折々の花が植えられており、平成30年に宮城県内では初めて「恋する灯台」に認定された。

道路もきれいに舗装されており、トイレも設置されており、利便性は向上した。

○ 市への政策提言等

①七窪蛇田線道路新設

令和5年度の完成を予定しているが、工事にはJR協議等が必要になってくることから、関係事業者と連絡調整を密にし、遅れが生じないように努めてもらいたい。

②グリーンスローモビリティ（のぞみ野地区）

のぞみ野地区での、一番の課題は運転手を手伝ってくれるボランティアがいないこと。自身で運転できない場合は、運転手をカーシェアリング協会と連携し、ボランティア運転手の確保に努めているとのことであるが、電動カートの活発な活用のために、さらに努めてもらいたい。

③一般廃棄物最終処分場整備

最終処分場の埋立期間は約15年間であるが、埋立期間を延命するためには、一般ごみやサ産業ごみを減量化する必要があるため、分別の徹底等の周知に努めてもらいたい。

④大須崎灯台線道路改良

道路等はきれいに舗装されていたが、誘導看板等が少ないため、観光客の増加につながるよう努めてもらいたい。

6 調査経費 4,000円